

磯部小学校

校長室だより

第16号 令和6年12月13日(金)



人権についての話

全校朝会で話しました。

皆さんは、人権という言葉聞いたことがありますか。「人権」とは、「人間」という漢字の「人」という字と「してもいいこと」「やってもいいこと」という意味をもつ「権利」という言葉の「権」という字を組み合わせると「人権」と書きます。

では、「人権」とは何か。簡単に言うと、「だれもが自分らしく、幸せに生きていく権利」のことです。これは誰もがもっている権利です。そして、他の人からその権利を取り上げられたり、邪魔されたりすることがあってはならないものです。

学校や学級には、いろいろな人がいます。好きなことや考えていること、大切にしていること、夢など、みんなそれぞれ違います。体の大きい人、走るのが速い人、力が強い人、手先の器用な人、遊びが得意な人など様々です。そういういろいろな人が集まって、みんなが良くなっていけるように、協力して生活をするとところが学校や学級ですね。

ところが、人はどうしても自分のものの考え方や感じ方を基準にして、物事を見たり考えたりしてしまいますから、自分中心で自分のことだけを考えてしまうことがあります。世の中では、そういう心が元で、けんかやいじめ、対立、戦争などの問題が起きています。もし学校や学級に、「自分さえ良ければいい」「自分の人権さえ良ければ、周りの人や他の人の人権はどうなってもいい」という、自分のことしか考えない人が多かっただらどうでしょう？きっと、学校に来るのが楽しくなくなってしまいますね。ましてや、国と国が争う、戦争になってしまうと、命の危険にさらされてしまいます。

学校でも世の中でも、自分とは好きなことが違ったり、考え方が違ったりして、自分とうまく合わない人がいるかもしれません。でも、自分と違うということで、相手が幸せに生きていけないようにすることは許されません。

ですから、周りの人たちの良いところに向け、お互いに認め合うことを大切にしてください。私は「自分さえ良ければ、相手はどうでもよい」などという考えを絶対にもたない人になってほしいと、磯部小学校の皆さんだけでなく、世界中全ての人になってほしいと強く願っています。

そのために、まず、皆さんにできることは、「いじめをしない、させない、許さない」ことです。自分はいじめているつもりはない、と言っても、相手をそういう気持ちにさせてしまえば、それはいじめているのと同じです。そんなことが絶対に無いよう、「相手や周りの人がどう思っているか、考えられる人」になってください。そういう輪が、学校中、日本中、世界中に広がっていくことを期待しています。

そして、今だけではなく、この先の人生で、何歳になっても、大人になっても、ずっとその気持ちをもち続けてください。

これが、今日皆さんに一番伝えたい「人権」の話です。早速今から、心がけましょう。そして、磯部小学校を幸せな学校にしていきたいと思います。